

別記第9-1号様式（第14条関係）

清水町町民提案型まちづくり事業

事業実績書

【団体名 ドリームピッチ】

事業名	サッカーを通しての子ども達健全育成事業
活動内容	現役のサッカー選手と練習する事で、清水町の子どもたちのスキルアップや、向上心の更なる強化をはかり、次代を担う子どもたちの健全育成事業を展開します。
実施期間	31年1月6日～ 31年1月6日
実施場所	清水町体育館
参加者数	35人
活動の概要	<p>現役プロサッカー選手の清原翔平氏を招き、また元プロサッカー選手の田中康平氏、帯広北高校サッカー部監督の片桐聡氏およびコーチの高橋怜央氏のもと、プロサッカー経験者による普段とは違った指導によって、技術や向上心の強化を図った。</p> <p>当日のスケジュール 10:00～12:00（個人スキルアップ） 小学校3・4年対象スクール 19名 13:00～15:00（グループ戦術） 小学校5・6年生対象スクール 16名 ※各練習後30分ほどミーティング（質問コーナー）を行った。</p> <p>（総括） 今回の事業は1日で行うため、健全育成に関わる「心」「体」「知」をテーマに絞り事業を行いました。 「心」とは日々の練習、本番に挑むための心の準備を現役と元プロサッカー選手の生きた体験を子どもたちに</p>

伝えてもらいました。

「体」では、近年どのスポーツでも重要とされる体幹（インナーマッスル）、アジリティ（ステップワーク）に着目し、ボールを使った練習を通して体の使い方、日々の積み重ねの必要性を伝えました。

「知」では、各練習の前に必ず説明する時間を設け、1つの練習に対して2つのキーポイントを意識してもらい、体と頭の両方を使い、自分のイメージする体の動きと、練習に必要な体の動きをリンクしやすくなるように努め、練習への理解度を深めました。

参加した子どもたちからは、普段行っている練習とは違った視点のアドバイスが多く、新たな自分、新たな課題を個々で持ち帰ることができたようです。「サッカーを通じた健全育成」と難しい内容でしたが、目的と内容の伴った事業を行うことができました。